

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	10-11																																
PDCA	主要事業名	ハザードマップ作成事業	部課名	総務部防災安全課	担当	藤井																																
					内線	285																																
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災 全体事業期間： 令和 2年度 ~ 3年度 全体事業費等： 19,538 千円 会計 一般会計 歳出科目： 08.01.05.02.65 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 16,300 千円																																					
	事業概要等	事業概要： 令和2年度から3年度にかけて津波・高潮・洪水ハザードマップの作成・配布を行い、住民の円滑な避難行動に繋がるよう周知啓発していく。 事業目的： 住民の円滑な避難行動を確保するとともに要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成を支援する。 事業内容： 水防法の規定に基づく高潮ハザードマップ及び洪水ハザードマップを作成し、令和2年度に作成した津波・洪水ハザードマップと合わせて冊子にする。 問題点・課題等： 円滑な避難行動を確保するため、伝達方法、避難施設、避難経路などの事項を住民等にわかりやすい形で周知する必要がある。																																				
	予算額	主要事業とする理由																																				
	13,114 千円	住民が逃げ遅れのない避難行動を取れるようにするため、ハザードマップを作成・冊子化して配布し、自身の被災リスクの把握、避難行動の検討に繋がるよう周知啓発していくため。																																				
	財源内訳	得られる成果																																				
	市費	ハザードマップなどの印刷物として、分かりやすい形で住民や要配慮者利用施設等へ周知啓発することで円滑な避難行動を確保することに繋がる。																																				
	11,750 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">多言語化したハザードマップを作成</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	多言語化したハザードマップを作成	実績値	—	—	—	目標値	—	—	—		実績値				目標値				その他	実績値				目標値			
	目標値や目指すべき状態	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																	
	多言語化したハザードマップを作成	実績値	—	—	—																																	
		目標値	—	—	—																																	
	実績値																																					
	目標値																																					
その他	実績値																																					
	目標値																																					
1,364 千円																																						
0 千円																																						
0 千円																																						
D 得られた成果と実績値	決算額	得られた成果																																				
	12,820 千円	「水災害」で取り纏めた冊子タイプのハザードマップを作成した。住民が自ら考え、記入することで、自身の時系列式の避難計画「マイタイムライン」が作成できるようにし、適切な避難行動を促せるものとした。外国語（ポルトガル語、ベトナム語、中国語、英語）の概要版を作成した。																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">多言語化したハザードマップを作成</td> <td>実績値</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	令和3年度	単位	多言語化したハザードマップを作成	実績値	—	目標値	—																								
	成果指標	令和3年度	単位																																			
多言語化したハザードマップを作成	実績値	—																																				
	目標値	—																																				
C 課題の整理	事業の評価・課題	<b>B</b> 高潮ハザードマップ、洪水ハザードマップ及び津波・洪水ハザードマップの紙冊子を作成し市報と同時に配布し、ホームページにも掲載した。外国語（ポルトガル語、ベトナム語、中国語、英語）概要版は必要な市民へ配布できるよう調整する。																																				
A 今後の課題の方向性	今後の事業の方向性	<b>終了</b> ハザードマップ作成事業は完了。今後、転入者への配布、ホームページを活用した周知啓発を進め、住民の円滑な避難行動を確保するとともに、要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成を支援していく。浸水想定区域を中心に出席講座や地域の訓練を通じて、ハザードマップを活用した避難行動について啓発していく。																																				
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない																																		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																		
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																				

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）